



# 豊崎長屋北終長屋

豊崎長屋は、主屋とそれを囲むように

長屋が配置されており、

これらが一群となっているのが特徴である。

北長屋、南長屋、西長屋、東長屋、銀舎長屋、北終長屋

など複数の長屋からなる。

## ADDRESS

大阪市北区豊崎1丁目 7-4

## ABOUT

建築年 : 明治30年

設計 : 竹原義二、小池志保子

大阪市立大学竹原・小池研究室

構造 : 木造



## HISTORY

大正時代に主屋と5棟の長屋、  
明治時代に1棟の長屋が建てられる

建物の老朽化により空き家がみられる

長屋の所有者と住人、  
大学が一緒になって再生を進める

大阪の原風景である長屋の改修を通して  
伝統的な町並みや住まいを保存するという取り組みで  
2007～2010にかけて改修工事が行われる

2008年に国の登録有形文化財に指定される



## 二階部分の様子

壁や一部の床はそのまま、  
屋根には断熱材が張られた状態。

一階よりも狭い印象。





## SAME AS BEFORE

### 一階の天井

建物を支える梁(黒めの木)は、  
変わらず使用されている



### 壁

白や黒、茶色などさまざまな色の壁は  
新しくせず、そのまま使用されている。

## HOW TO USE

### CAFE



### WORK SHOP



### OFFICE



## AROUND



左側が大正時代に建てられた長屋で、右側が明治時代に建てられた長屋。

建てられた時代により長屋の高さが異なり、明治時代の長屋の方が高い。

今回、豊崎長屋終長屋を調査するにあたって実際に工事中の長屋に足を運ぶことで、リノベーション途中の様子を見て、昔から今に長屋が受け継がれているのを肌で感じることができました。長屋、リノベーションに馴染みのない若い世代にも、長屋の良さをもっと知ってもらいたいと思います。